

<p>おやじ必読 おやじ メール <i>O-maji</i></p>	<p>Vol. 4 12 年 8 月 平和幼稚園 おやじクラブ</p>
--	---

おやじのつぶやき

「自転車の乗り方 教えたのは誰？」

12 組 芦田 諾朗

息子をもつおやじとして、補助輪なしの自転車に乗れるようにしてやることは、おやじの威厳を見せつけるには絶好のイベント。

今から一年ほど前のとある夏の日、隣の家の女の子と一緒に補助輪つき自転車を颯爽と乗り回している我が息子に、「そろそろ補助輪をとっては？」と提案、お母さんもあっさり OK。そして虎の穴の特訓が始まった...

体育会系仕込みの私たち夫婦は、言葉よりもすぐに手が出てしまう。そんな両親に見守られながら、息子は恐る恐る乗ってみる...だけど、すぐにバランスを崩して転倒、後ろから押してやるが手を離れた途端に転倒。それでも夫婦そろって体育会系のゲキを飛ばしながら悪戦苦闘し、1時間ほどが経ったとき、息子の口から「もうやめた」...その言葉だけは聞きたくなかった！ 横を見ると隣の女の子は誰の助けも借りず黙々と練習を続けている。私は一層大きな声で「途中で投げ出したりするな」 しかし彼にはもう頑張る意欲が感じられず、震える握り拳を押さえながらその日は退散したのだった。

次の日、仕事から帰ると息子が「自転車乗れた」と報告。「さすが我が息子、一人でやる気出して練習したんだ」と頭を撫でると、「おじさんに教えてもらった」と息子。...それ誰？

よく聞くと、昨日の我が家の虎の穴の特訓ぶりを見ていた近所のおじさんが「あんまり無理に押ししたり引いたりしないで、自分でバランスとれるようになるから」と助言、すぐに息子は乗れるようになったそうだ。

結局、おやじの威厳を発揮できずに終わってしまったが、息子には「できた」という大きな感動があったに違いない。ついつい精神論を子どもに押しつけてしまいがちだが、「できた」という感動・体験を通して、いろいろな事を覚え

て行くもだと独りで納得。まだまだ修行の足りない我が家には今日もどなり声が響き渡っているのだった。

先生から「ファイト！一発」

「おやじって?!」

5 組担任 相馬 恵一

平和幼稚園に就職が決まった年の冬、幼稚園の案内パンフレットを見ながら感じた疑問が「おやじクラブってなんだろう？」

父母会や PTA などは母親が中心となって運営されているものと思いこんでいたので、父親が作る「おやじクラブ」と言われても想像できず、「変わっているなあ」というのが第一印象でした。そこで、パンフレットのおやじクラブを紹介したページを良く見ると、子どもとお父さんでキャンプや釣り、スキーツアーなどなど...すごいなあ、と思いながら興味が沸いてきました。スキーを持っていなかった私は早速スキーを購入しツアーに参加しました。「おやじクラブ」との最初の出会いはスキーツアーでした。

それから、おやじクラブの世話役としてクラブの活動に参加させて頂き、おやじの方々の姿を見ながら思うことは、まずは「お酒が好きなんだな」ということ。いつも酒を呑みながら盛り上がっている。でも、ただの酔っぱらいではありません。私は幼稚園の時に病気で父を亡くしているので父の記憶が殆どなく、「おやじ」と聞いてイメージするのは...休みの日にパンツにシャツ姿でゴロゴロし、夜はビール片手にナイター見て...というマンガに出てくるような姿ですが、おやじクラブのお父さん達を見ていると「ちょっと違う」どころか「全然違う」、本当に活発！どんな時でも、どんなことでも全力で、自分が子どもだったら頼もしいと思うのだろうなといつも思っています。

いつか自分がおやじになるときは、おやじクラブのメンバーのように頼もしいおやじになりたいと思い、現在おやじクラブ世話役兼おやじ予備軍として修行中です。

おやじクラブにはいろいろな人がいて、様々な行事があって、子どもや家族そして自分について新しい発見があると思いますよ！

今月の話題

「日本の子どもって？」

京都府立医科大学の医師らが米国在住の日本人小中学生を対象に心身の健康状態を調査した。その結果、「学校に行きたくない」は米国30%、日本66%と倍以上。また「友達にいじめられる」は米国では3%、日本の35%と10倍。「家庭が楽しくない」も米国12%、日本31%と大きな差。生活行動でみると「テレビを3時間以上見る」は米国ではわずか8%に対して日本で40%。逆に「自宅での学習を2時間以上する」は米国では23%なのに日本でわずか4%。更に「親の言いつけを守らない」は米国4%、日本76%と大きな差がでた。

(毎日新聞「子どもが危うい」)

日本の子どもの様子が文部省の国際比較調査で浮き彫りになった。調査は日、韓、米、英、独で実施。その結果、「友達のけんかをやめさせた」「いじめを注意した」では日本は他の4ヶ国の半分程度と日本の子供達の正義感・道徳観に疑問符がつく結果。「嘘をつかないように」と諭す親は日本の場合10%代と30~50%の他国と大きな差。「弱い者いじめをするな」「友達と仲良く」と言わない親が日本では7割以上。

一方、意外にも「勉強しなさい」と言う親は5カ国中最も少ない結果に。

しつけが不十分という前に親が子供に関わらなくなっている。

(朝日新聞「どこかへんだよ日本の子ども」)

7月行事の報告

7/8七夕フェスタにおいて、「おやじの店」では「みそおでん」と「綿あめ」を販売しました。どちらも大盛況、特に綿あめは一時長蛇の列ができる程でした。お陰様で、七夕フェスタフィナーレの打ち上げ花火への協賛金以上の売り上げとなりましたので、残りは幼稚園への寄付等に利用させていただきます。店の運営に協力頂いたおやじの方々、そしてお客様として足を運んで頂いた皆様、ありがとうございました。

また、おやじクラブOB会では「昔あそびコーナー」と題して、おやじクラブを卒業されたおじさま方(失礼)が子ども達にコマ回しや剣

玉遊びを伝授していました。

ふれあいステージでは、子ども達に「好き嫌いせずになんでも食べよう」をテーマに手製の衣装を身にまとったおやじ達がパフォーマンス(劇&ダンス)を披露しました。

「七夕フェスタふれあいステージの裏話し」

5組 宮澤秀夫

6月28日午後8時、おやじクラブのメンバー達が幼稚園に集結し、さあステージの練習だ。でも、去年もやったはずなのに今年の雰囲気はどこか違う。去年、ステージのリーダー役を買って出たおやじが今年は借りてきた猫のようになっている。

なんと、今年の振付の指導は宮の森スポーツクラブエアロビ女性インストラクター福井先生。「さあ皆さん基本ステップから練習しましょう」とホールに張りのある声が響き渡る。

シャツの色が変わるまで、踊りつづけた2時間半...おやじたちの恐ろしい集中力、決して仕事中には発揮されることのないすさまじいパワー...おやじ達のダンスはパーフェクトに近いかたちまで仕上がった。

福井先生ありがとう。おやじ達の神がかり的な集中力の要因は全てあなたのグラマラスなボディーラインにあったのです!!

借りてきた猫になってしまった去年のリーダーですが、しっかり福井先生の振付をビデオに撮影していたとか。

8月行事のお知らせ

8月26、27日に厚田村でネイチャースクールを開催します。おやじと子供達が自然の中で遊び回り、みんなでカレーライスを作り、キャンプファイヤーに花火大会で盛り上がります。また、子供達を寝かしつけた後は、おやじ達の宴会が朝まで続きます。

オープン行事ですので、会員でない方もOK、テント等をお持ちでない方もなんとかなります。参加したい方は板橋先生まで連絡を。

担当：なみかわ

E-mail：namikawa@mpd.biglobe.ne.jp